

やけど（熱傷）について

やけどとは

やけど(熱傷)は日常生活において最も多い怪我の一つです。皮膚が熱によってダメージを受けた状態を言います。将来的に凸凹やひきつれ、そして色素沈着・脱失をおこした傷跡になることがあります。早めに適切な治療を開始することで将来的な傷跡をきれいにすることができます。

原因

熱い液体やアイロンやコテなどが皮膚に接触して起こります。その他にも湯たんぽによる低温やけどや、酸やアルカリなどによる化学やけど、電気による電撃傷もあります。子供では机の上の味噌汁などによる顔から胸腹にかけてのやけどや、炊飯器の蒸気による手のやけども多く見られます。

初期治療

やけどをしてから30分以内に水道水で20分程度冷やすことが理想です（これができている人はあまりいませんが・・・）。氷などで冷やしすぎると反対に凍傷になることがあります。痛みが取れたら冷やすことをやめて、また痛くなったら冷やすなどを繰り返してください。痛みは1日前後はつらいですがそのうち落ち着いてきます。痛み止めなども我慢せず内服してください。また水ぶくれは無理して取らないでください。

症状・治療期間

やけどは受けた熱のダメージにより、Ⅰ度、Ⅱ度、Ⅲ度に分かれます（表参照）。治療期間は、Ⅰ度：数日、Ⅱ度：2～4週間、Ⅲ度：2～3ヶ月間程度です。年齢ややけどの部位や原因などでも前後します。

図9：やけどの深さ

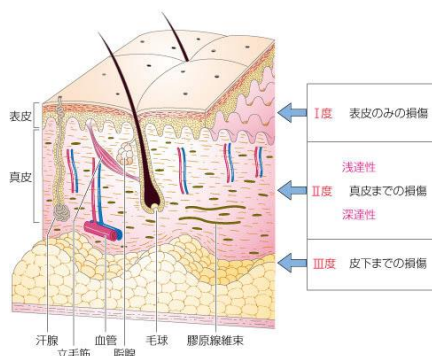


表1：やけどの分類（深さによる）

	Ⅰ度	Ⅱ度	Ⅲ度
損傷レベル	表皮より浅い	表皮、真皮	皮膚全層・皮下組織
症状（外見）	赤み（充血、発赤）	水疱（水ぶくれ）	乾燥（黒色、白色）
症状（自覚）	痛み、熱感（熱い）	痛み（損傷レベルが深くなるにつれて痛みが減少）	無痛、感覚なし
治療期間	数日	1-4週間	1ヶ月以上
傷跡	残らない	残る場合と残らない場合がある	残る

日本形成外科学会HPより

治療について

治療は**湿潤療法**で行います。決してやけどを剥き出しにしたりして乾燥させないでください。具体的にはしっとりとしたワセリン等の軟膏で傷を少し湿らせた状態で保護してください。毎日自宅で処置をしていただき、週に1～2回通院してください。

クリニックでは傷が治療の方向へ向かっているかどうかをチェックします。お子さんのやけどでも処置は自宅で行っていただきます。クリニックで行うよりもご両親と一緒に自宅で処置を行う方が、お子さんの気持ちの安定に繋がり傷の治りも早くなります。

もし自宅での処置でお困りの場合、医師会の訪問看護などにご相談ください。

（江東区医師会訪問看護 03-3646-5500）

きずときずあとのクリニック

形成外科・美容外科

次回のご予約は
LINEから簡単に
可能です！！！！



処置について

毎日の処置においては重症の感染症を起こす危険性があるため**決してサランラップやキズパワーパットは使用しないでください**。使用するものはワセリンとフィブラストスプレー、くっつかないガーゼです。

- ①シャワーなどで濡らしながらガーゼを外して、ソープなどを使用して優しく洗ってください。その後清潔なタオルなどで水分を拭き取ってください。
- ②フィブラストスプレーが処方されている場合、スプレーして30秒程度お待ち下さい。
- ③ワセリン軟膏をつけたくっつかないガーゼでやけどを覆い、テープや包帯などで固定してください。

フィブラストスプレー（bFGF製剤、科研製薬）について

フィブラストスプレーは日本熱傷学会のガイドラインで早期からの使用を勧められている薬剤です。特にⅡ度のやけどでの使用は効果的です。最初はしみますが数日で慣れて来ます。この製剤は①やけどの治療期間を短くする、②治った後の傷跡を改善するという効果が証明されています。値段は3割負担で3,000円前後かかります。

低温やけどについて

湯たんぽなどによる低温やけどは他のやけどよりも熱のダメージが大きいため皮膚が全層で壊死してしまうⅢ度のやけどです。そのため普通のやけどよりも治療期間は長くなります。治療の流れとして、①皮膚の壊死組織がはっきりする（1～2週間）、②壊死した皮膚が取れてくる（1～2ヶ月）、③傷が周りから治る（1～2ヶ月）となります。局所麻酔を用いて壊死した皮膚を除去することもあります。基本的には保存的に治療を行います。使用する軟膏や処置方法は随時変わっていきますので医師の指示に従ってください。

※テープ・包帯などの衛生材料は、隣の総合薬局で売っております。

※もしやけどから滲出液が多い場合はガーゼだけ交換してください。

Q&A

Q、将来の傷跡はどうなりますか？

A、もちろん将来の傷跡はご心配かと思えます。ただ将来的な傷跡をきれいにするために最も大事なことはやけどを早く治すことです。当院ではやけどが治った後の傷跡も一緒に治療していきますので、まずはやけどを治すことに集中しましょう。

Q、最近痛みが強くなって来ていますがどうすればいいですか？

A、痛みが強くなって来ている原因としてバイキン感染が考えられます。特に動きすぎたりするとバイキン感染は強くなります。安静にして軽く冷やしてください。そして早めに再受診をしてください。

Q、やけどからの滲出液が多いのですが、

A、初期の頃は滲出液が多くガーゼの上までしみ出て来てしまうことがあります。その際は1日に2回くらいまではガーゼを交換してください。おむつやナプキン、ペット用の防水シートなどをガーゼの上に貼って漏れ出てくる滲出液を吸水させることも有効です。ガーゼ交換の際フィブラストスプレーは1日1回だけで十分です。

きずときずあとのクリニック

形成外科・美容外科

次回のご予約は
LINEから簡単
に可能です!!!

